

仏沼・環境教育牧場計画 野鳥誌掲載記事

<仏沼のオオセッカに新たな守り手NPO法人「おおせっからんど」設立>
(No.666 2003年7月号 p.33)

● <活動>

仏沼のオオセッカに新たな守り手NPO法人「おおせっからんど」設立
(No.666 2003年7月号 P.33)

4月26日、青森県三沢市の同市公民館にて、希少種オオセッカを中心とした生態系の保全および自然と共生する地域社会の実現を目指すNPO法人「おおせっからんど」の設立総会が行われました。

この法人は、オオセッカを中心とした野生生物全般の生息環境の保全を図り、生物多様性を維持すると同時に地域住民と環境との共生に関する事業を行い、環境問題の解決と持続可能な社会の形成に寄与することを目的に設立されました。



オオセッカの国内有数の繁殖地である三沢市仏沼干拓地の調査研究・保全活動を行ってきた本会青森県支部を構成する三沢野鳥の会や八戸野鳥の会会員等の周辺地域の皆さんの他、より幅広い層の市民の方々がこの新しい法人に参加されています。

設立総会であいさつする向山満理事長

(写真/三戸貞夫)



仏沼に生息するオオセッカ。特殊なタイプのヨシ原にしか生息しない

(写真/宮彰男)

本会事務局からは新たな門出を祝って、会員室の小林豊と自然保護室の古南幸弘が出席しました。総会では理事長に向山満氏、副理事長に宮彰男氏、専務理事に関下斉氏、理事に津曲隆信氏他を選出し、仏沼に関する調査活動や環境保全型農業の支援、生態系保全のための勉強会開催等の活動方針を決めて閉会しました。総会後の話し合いでは「おおせっからんど」と本会は協力関係の上、共に仏沼を中心とした貴重な湿地生態系の保全を目指していくことを確認しました。

オオセッカは中国と日本の限られた地域にだけ分布するウグイス科の小鳥で、絶滅のおそれがある種として種の保存法の「国内希少野生動植物種」に指定されています。2001年の繁殖期に本会が青森県支部、立教大学動物生態学研究室と共に行った一斉調査（弘前支部、国立環境研究所等が参加）では、国内にオオセッカは約2,500羽しか生息せず、うち

半数近くが仏沼干拓地（面積 250ha）に生息していると推定されています。

「おおせっからんど」では運営に参加したり活動を支援する会員を次のように募集しています。詳しくは左記までお問い合わせください。

「おおせっからんど」の入会案内

入会金：1,000 円

年会費：正会員 24,000 円／サポート会員 個人 2,000 円、

ジュニア 500 円／団体 10,000 円（1 口）

【問い合わせ・申し込み先】

〒031-0813 八戸市新井田丑鞍森 32-9 関下方

TEL&FAX：0178-30-1775

（自然保護室）